

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	01	144010	水道未普及地域対策事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	5,658		5,658
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	5,658		5,658

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標

安全な水の安定的供給を図る

事業開始の背景・経緯

市内の水道未普及地域内の生活水の確保に支障をきたしている世帯に対する整備手法を検証した結果、上水道整備は経費、水質維持等の観点より困難であったことから、既存水源を活用した簡易浄水施設設置補助により支援することとした。

事業概要

- 水質検査 7千円
水源の水質検査に要する費用
- 浄水施設等設置補助 5,651千円
貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設及びそれぞれの施設の整備に要する電気設備への設置補助
(補助率10分の9、限度額270万円)

担当部署	15100000 市民生活部 生活環境	担当課長	松原 弘明
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

水道未普及地域対策事業 R4 5,658千円

1. 水質検査 7千円
水道未普及地域の世帯等を対象に、浄水施設等の設置を希望する場合に現在自宅等で使用している水を水質検査し、現状の水質状況を確認する。
2. 浄水施設等設置補助 5,651千円
水道未普及地域の世帯等を対象に、浄水施設等の設置にかかる補助対象経費（上限額300万円）の9割（補助金交付上限額270万円）を補助する。
なお、補助金交付対象施設は貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設、電気設備である。

一般世帯に対する補助：4世帯

金額 5,642千円

- 概要
- ①工事業者の都合等により整備年度を令和4年度に延期
滅菌機の設置工事や貯水槽の設置工事が中心
 - ②事業利用を希望し相談を行っているもの

- 内訳
- ①大迫地域 515千円
 - ②大迫地域 1,613千円
 - ③大迫地域 1,524千円
 - ④東和地域 1,999千円

※補助金交付対象者（世帯等）：2010年（平成22年）4月1日時点、水道未普及地域に住所を有し、居住していること。